

平成 22 年度入学者選抜学力検査問題

数 学

注 意

- 1 監督者の「始め」の合図があるまでは、開いてはいけません。
- 2 検査時間は、11 時 40 分から 12 時 30 分までの 50 分間です。
- 3 大きな問題は全部で 6 問で、表紙を除いて 7 ページです。
また、別に解答用紙が、(1), (2) の 2 枚あります。
- 4 監督者の「始め」の合図があつたら、すぐに受検番号をこの表紙と解答用紙(1), (2) のきめられた欄に書きなさい。
- 5 答えは、できるだけ簡単な形で表し、必ず解答用紙のきめられた欄に書きなさい。
- 6 監督者の「やめ」の合図があつたら、すぐやめて、筆記用具をおきなさい。

受 檢 番 号	番
---------	---

1 次の 1 から 14 までの問い合わせに答えなさい。

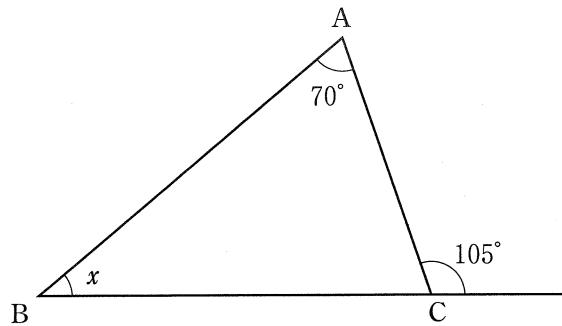
1 $(-8) \div 2$ を計算しなさい。

2 $4a \times ab^3$ を計算しなさい。

3 $(x - 3)^2$ を展開しなさい。

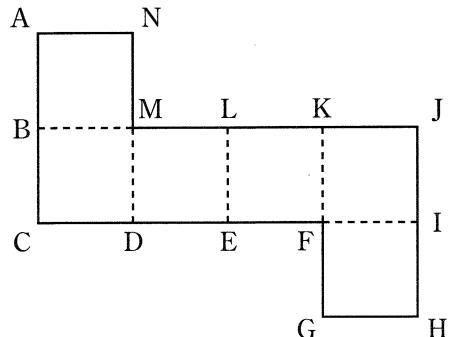
4 $\sqrt{24} + \sqrt{6}$ を計算しなさい。

5 右の図の△ABCにおいて、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。



6 2次方程式 $x^2 + x - 6 = 0$ を解きなさい。

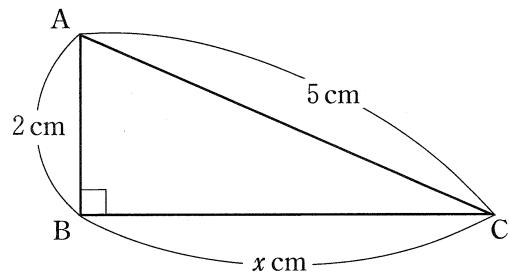
7 右の図は、立方体の展開図である。この展開図を組み立ててできる立方体について、点 A と重なる点を答えなさい。



8 $\frac{n}{4}$ と $\frac{n}{6}$ がともに自然数となるような n のうち、最も小さい自然数 n の値を求めなさい。

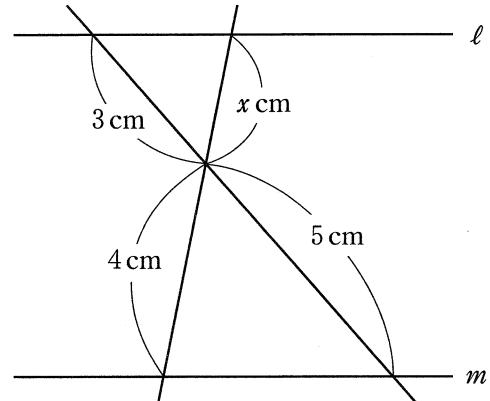
9 y は x の 2 乗に比例し、 $x = -2$ のとき $y = 20$ である。 y を x の式で表しなさい。

10 右の図の直角三角形 ABCにおいて、 x の値を求めなさい。



11 2つの直線 $y = 2x + 1$ と $y = -x + 4$ の交点の座標を求めなさい。

12 右の図のように、平行な2つの直線 ℓ , m に2直線が交わっている。 x の値を求めなさい。



13 反比例のグラフが2点(6, 1), (2, b)を通るとき、 b の値を求めなさい。

14 円周率を π とする。底面の半径が 3 cm, 体積が $63\pi \text{ cm}^3$ の円柱の高さを求めなさい。

2

次の1, 2, 3の問いに答えなさい。

1 右の図のように、直線 ℓ と ℓ 上にない点Pがある。

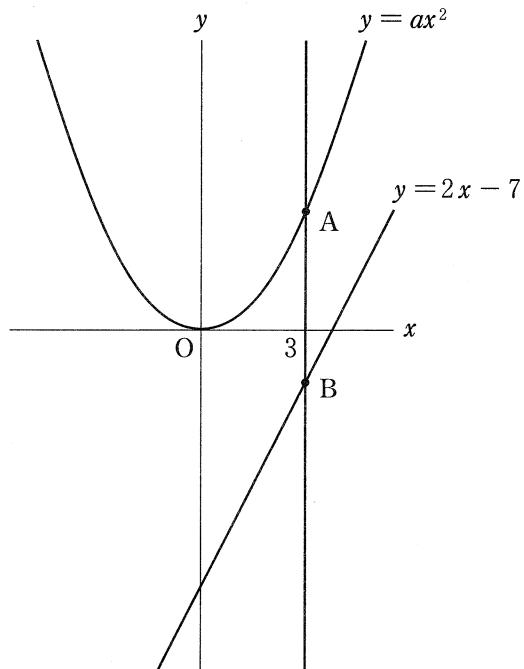
• P

Pを通る ℓ の垂線を作図しなさい。ただし、作図には定規とコンパスを使い、また、作図に用いた線は消さないこと。



2 100円, 50円, 10円, 5円, 1円の硬貨がそれぞれ1枚ずつ計5枚ある。この中から2枚を選ぶとき、2枚の合計金額は全部で何通りか。

3 右の図のように、関数 $y = ax^2$ ($a > 0$)のグラフ上で x 座標が3である点をAとする。また、点Aを通り、 y 軸に平行な直線が、関数 $y = 2x - 7$ のグラフと交わる点をBとする。 $AB = 4$ となるときの a の値を求めなさい。



3

次の 1, 2 の問い合わせに答えなさい。

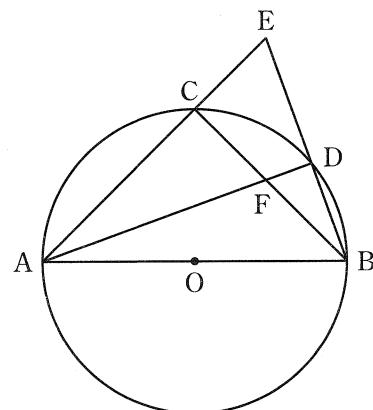
1 ある水族館には、入館料が大人 1 人につき 200 円引き、子ども 1 人につき 100 円引きになる割引券がある。大人 2 人と子ども 3 人がだれも割引券を利用しないと、入館料の合計は 4700 円である。また、大人 3 人と子ども 5 人の全員が割引券を利用すると、入館料の合計は 6300 円である。割引券を利用しないときの大 1 人の入館料を x 円、子ども 1 人の入館料を y 円として連立方程式をつくり、割引券を利用しないときのそれぞれの入館料を求めなさい。ただし、途中の計算も書くこと。

2 連続する 4 つの整数を小さい方から順に a, b, c, d とするとき、 $bc - ad$ の値はつねに 2 になる。このことを、 a を用いて説明しなさい。

4 次の1, 2の問い合わせに答えなさい。

1 右の図のように、ABを直径とする円Oの周上に、
 $AC = BC$ となる点Cをとる。点Aをふくまない方
 の弧BC上に点Dをとり、ACの延長とBDの延長と
 の交点をEとし、ADとBCの交点をFとする。

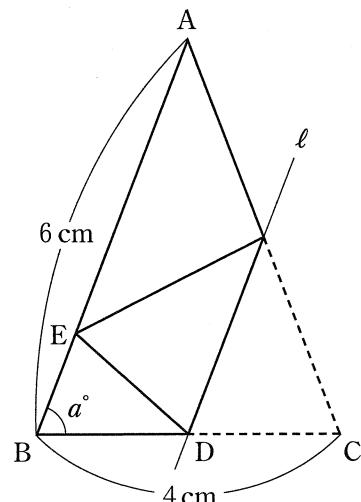
このとき、 $\triangle AFC \equiv \triangle BEC$ であることを証明しな
 さい。



2 右の図は、 $AB = AC = 6\text{ cm}$, $BC = 4\text{ cm}$ の二等辺三角形
 ABCを、辺BCの中点Dを通る直線 ℓ で折り返したとき、
 頂点Cが辺AB上の点Eに移ったところを示したものであ
 る。

このとき、次の(1), (2)の問い合わせに答えなさい。

(1) $\angle ABD = a^\circ$ とするとき、 $\angle EDB$ の大きさを a を用い
 て表しなさい。



(2) AEの長さを求めなさい。

5 図1のように、高さ30cmの直方体の形をした水そうが水平に置かれている。この水そうは底面に垂直な長方形の仕切りで区切られており、仕切りの高さは20cmである。仕切りの左側の底面を底面A、右側の底面を底面Bとし、底面Aの面積は底面Bの面積の2倍である。

底面Aの上には給水管P、底面Bの上には給水管Qがあり、給水管Pと給水管Qはどちらも1分間あたり同じ量を給水することができる。

給水管Pだけを使い、水そうが空の状態から満水になるまで給水したとき、給水を始めてから x 分後の底面A上の水面の高さを y cmとする。図2は、 x と y の関係をグラフに表したものである。

ただし、水そうと仕切りの厚さは考えないものとする。

このとき、次の1、2の問い合わせに答えなさい。

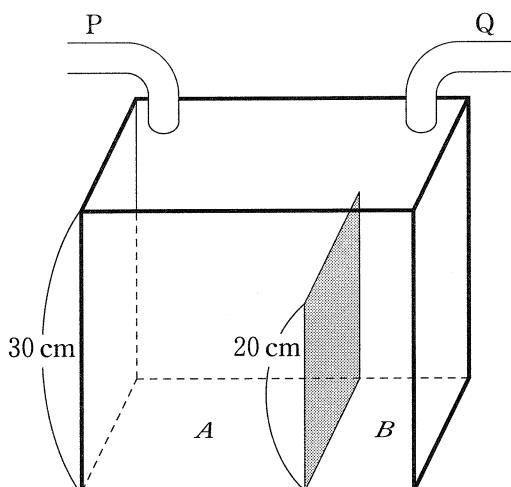


図1

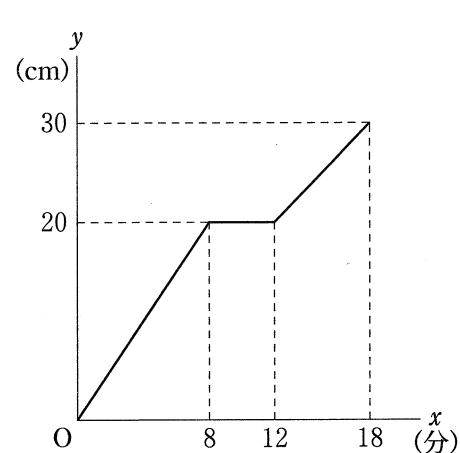


図2

1 給水管Pだけを使い、水そうが空の状態から満水になるまで給水したとき、次の(1)、(2)の問い合わせに答えなさい。

(1) 給水を始めてから2分後の底面A上の水面の高さを求めなさい。

(2) 給水を始めて12分後から18分までの x と y の関係を式で表しなさい。ただし、途中の計算も書くこと。

2 給水管P、Qを使い、水そうが空の状態から同時に給水を始める。このとき、底面A上の水面の高さが16cmになるのは、給水を始めてから何分何秒後か。

6

図1のような片方の面が白でもう片方の面が黒のメダルが何枚かある。

また、図2のように1から10までの数が1つずつ書かれた10枚のカードがあり、この中から何枚かを同時にひき、それらのカードに書かれた数の和を求め、次の【操作】を行う。ただし、1枚だけひくときは、そのカードに書かれた数を和とする。



図1

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10

図2

【操作】

最初にすべてのメダルを白が上になるように横一列に並べる。カードに書かれた数の和の枚数だけ、メダルを左端から右へ順に1枚ずつ裏返していく。ただし、右端のメダルまで裏返しても、裏返そうとしている枚数に足りないときは、左端のメダルにもどり裏返しを続けるものとする。

メダルの色については、メダルの上の面の色を考えるものとする。

例えば、図3のように、メダルが全部で5枚あり、3と4の2枚のカードをひいたときは7枚裏返すことになるから、【操作】が終了すると、メダルは左から2番目までは白で、その他は黒になる。

このとき、次の1、2の問い合わせに答えなさい。

すべて白になるように横一列に並べる



図3

1 メダルが全部で5枚あるとき、次の(1)、(2)の問い合わせに答えなさい。

(1) カードを1枚だけひいて【操作】を行う。【操作】が終了したとき、4枚のメダルが黒になる確率を求めなさい。

(2) カードを2枚ひいて【操作】を行う。【操作】が終了したとき、メダルは図4のようになった。2枚のカードそれぞれに書かれている数として、考えられるものを1組書きなさい。



図4

2 Aさんはメダルを10枚、Bさんはメダルをn枚持っている。Aさんがカードを何枚かひき、Aさん、Bさんそれぞれが【操作】を行う。例えば、Aさんがひいたカードに書かれた数の和が3のとき、Aさんも3枚、Bさんも3枚、自分のメダルをそれぞれ裏返すことになる。

このとき、次の(1)、(2)の問い合わせに答えなさい。

(1) Aさんは右端のメダルを白から黒に2度目に裏返したところで【操作】が終了した。また、Bさんは左から2番目のメダルを白から黒に3度目に裏返したところで【操作】が終了した。このとき、nについての方程式をつくり、nの値を求めなさい。ただし、途中の計算も書くこと。

(2) 【操作】が終了したとき、Aさん、Bさんともに、すべてのメダルが黒になった。考えられるnの値をすべて求めなさい。ただし、nは10より小さい自然数とする。